

施設別データ

施設番号	6101
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	道の駅にしお岡ノ山		
-----	-----------	--	--

大分類	商工観光施設	小分類	商工観光施設	所管部課	産業部 商工観光課
-----	--------	-----	--------	------	-----------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	小島町岡ノ山105番地57 (東部中学校地区)	敷地面積	4,561.01 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	地域振興施設				
複合・併設施設	-		建築年月	H21.11	
建物構造	鉄骨造	延床面積	469.75 m ²	総取得費	140,668 千円
階数	1階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	A (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	A (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
-	-	-	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	0	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
0	0	0	0	0	

5 避難所指定

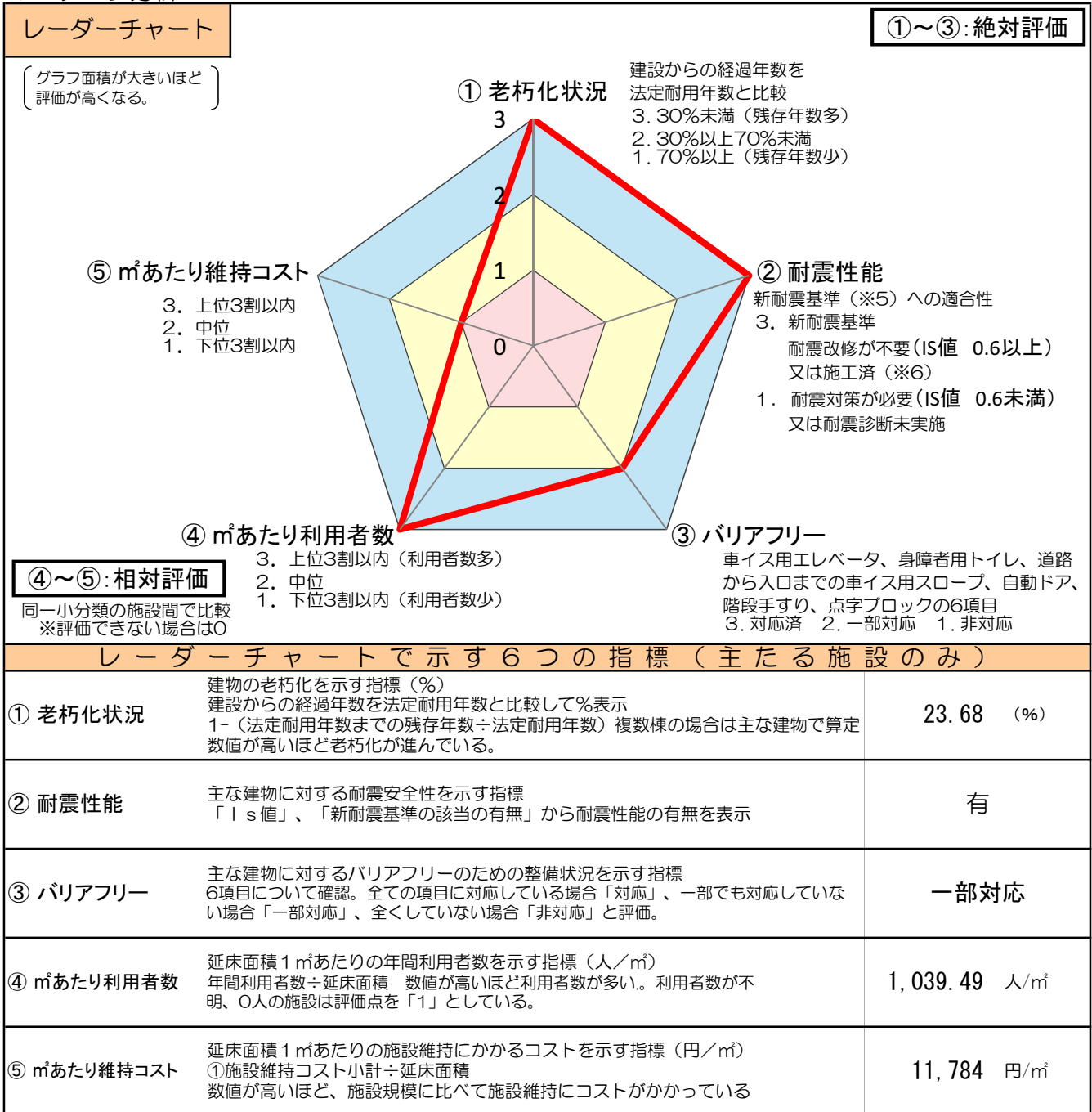
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
0	0	0	0	0

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	497,478 人	500,325 人	488,299 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	365 日	指定管理	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
修繕料				-	
① 施設維持コスト 施設を維持管理 するために要する 経費 +	② 施設運営コスト 施設を運営する ために要する 経費		② 施設運営コスト	火災保険料	25,735
				維持管理委託料	5,510,000
				敷地借上料	-
				工事請負費	-
				その他維持費	-
				小計	5,535,735
				人件費 (賃金含)	-
				燃料費	-
				光熱水費	39,749
				指定管理料	-
				その他委託料	51,732
				その他運営費	70,309
				小計	161,790
				合計 (①+②)	5,697,525
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	12 円/人	33 円/人	12,129 円/m ²		

7 データ分析



④～⑤:相対評価

同一小分類の施設間で比較
※評価できない場合は0

レーダーチャートで示す6つの指標 (主たる施設のみ)

※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
 「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	6102
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	佐久島クラインガルテン		
-----	-------------	--	--

大分類	商工観光施設	小分類	商工観光施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	--------	-----	--------	------	--------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町佐久島西平地61番地1 (佐久島中学校地区)	敷地面積	7,320.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	管理棟、ラウベ棟1棟、東屋5棟、ビニールハウス大、ビニールハウス小				
複合・併設施設	-	建築年月	H24.2		
建物構造	木造	延床面積	743.00 m ²	総取得費	71,130 千円
階数	1階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	A (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	A (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	1時間以内	計算対象層無し	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

5 避難所指定

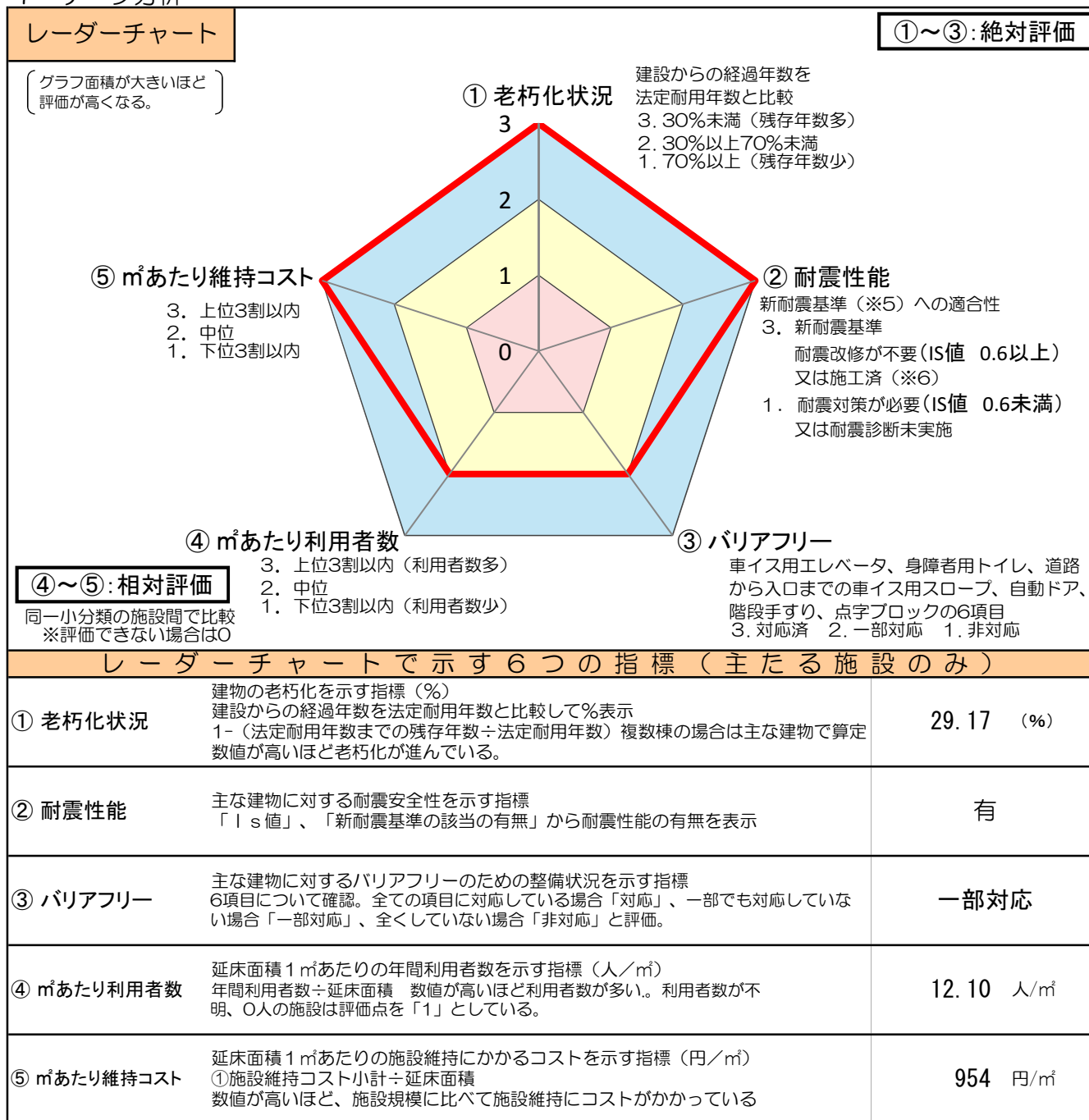
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	6,100 人	6,674 人	8,992 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	313 日	指定管理	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	-
修繕料				351,756	
火災保険料	68,632				
維持管理委託料	288,501				
敷地借上料	-				
工事請負費	-				
その他維持費	-				
小計	708,889				
② 施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-			
	燃料費	16,027			
	光熱水費	-			
	指定管理料	3,013,963			
	その他委託料	-			
その他運営費	45,303				
小計	3,075,293				
合計 (①+②)				3,784,182	
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	421 円/人	22 円/人	5,093 円/m ²		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
 「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	6103
調査年度	平成30年度

施設名	佐久島弁天サロン		
-----	----------	--	--

大分類	商工観光施設	小分類	商工観光施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	--------	-----	--------	------	--------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町佐久島西側41番地 (佐久島中学校地区)	敷地面積	527.19 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	佐久島弁天サロン				
複合・併設施設	-	建築年月	H10.12		
建物構造	木造	延床面積	348.28 m ²	総取得費	93,543 千円
階数	1階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
1.0m~2.0m未満	1時間以内	計算対象層無し	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊	-	-	-	

5 避難所指定

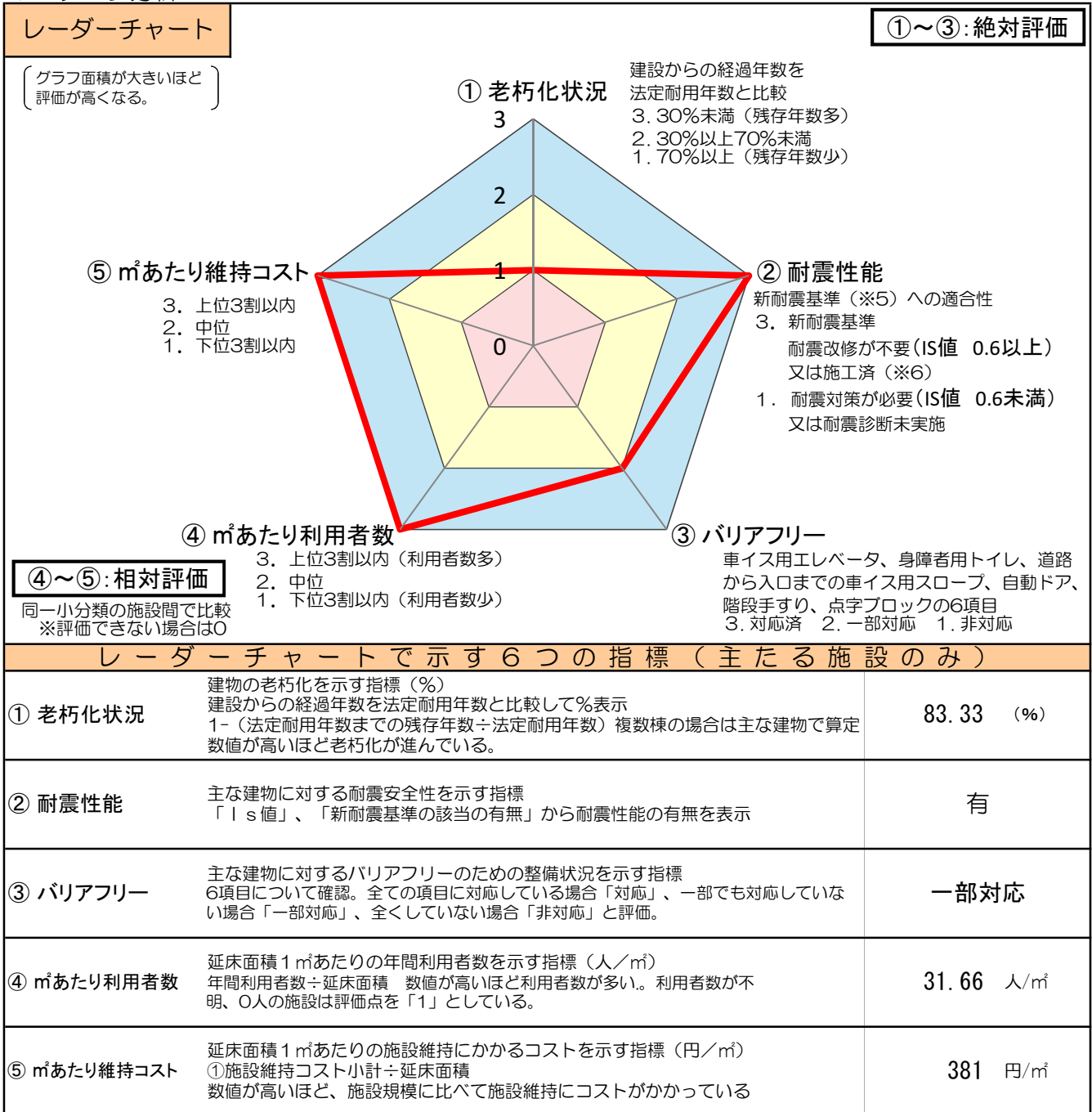
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	14,511 人	11,836 人	11,026 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	317 日	指定管理	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営する ために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			①施設維持コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	-
		修繕料		99,360	
		火災保険料		33,265	
		維持管理委託料		-	
		敷地借上料		-	
		工事請負費		-	
		その他維持費		-	
		小計		132,625	
		②施設運営コスト		-	
		人件費 (賃金含)		-	
		燃料費	-		
		光熱水費	215,236		
		指定管理料	3,201,547		
		その他委託料	-		
		その他運営費	319,750		
		小計	3,736,533		
		合計 (①+②)	3,869,158		
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	351 円/人	22 円/人	11,109 円/m ²		

7 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標 (主たる施設のみ)

※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
 「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	6104
調査年度	平成30年度

施設名	佐久島海浜広場		
-----	---------	--	--

大分類	商工観光施設	小分類	商工観光施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	--------	-----	--------	------	--------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町佐久島前田66番地 (佐久島中学校地区)	敷地面積	13,492.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	管理棟 (海水浴場管理棟)				
複合・併設施設	-	建築年月	H8.3		
建物構造	鉄骨造	延床面積	658.40 m ²	総取得費	13,081 千円
階数	2階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
3.0m~4.0m未満	1時間以内	計算対象層無し	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊	-	-	-	

5 避難所指定

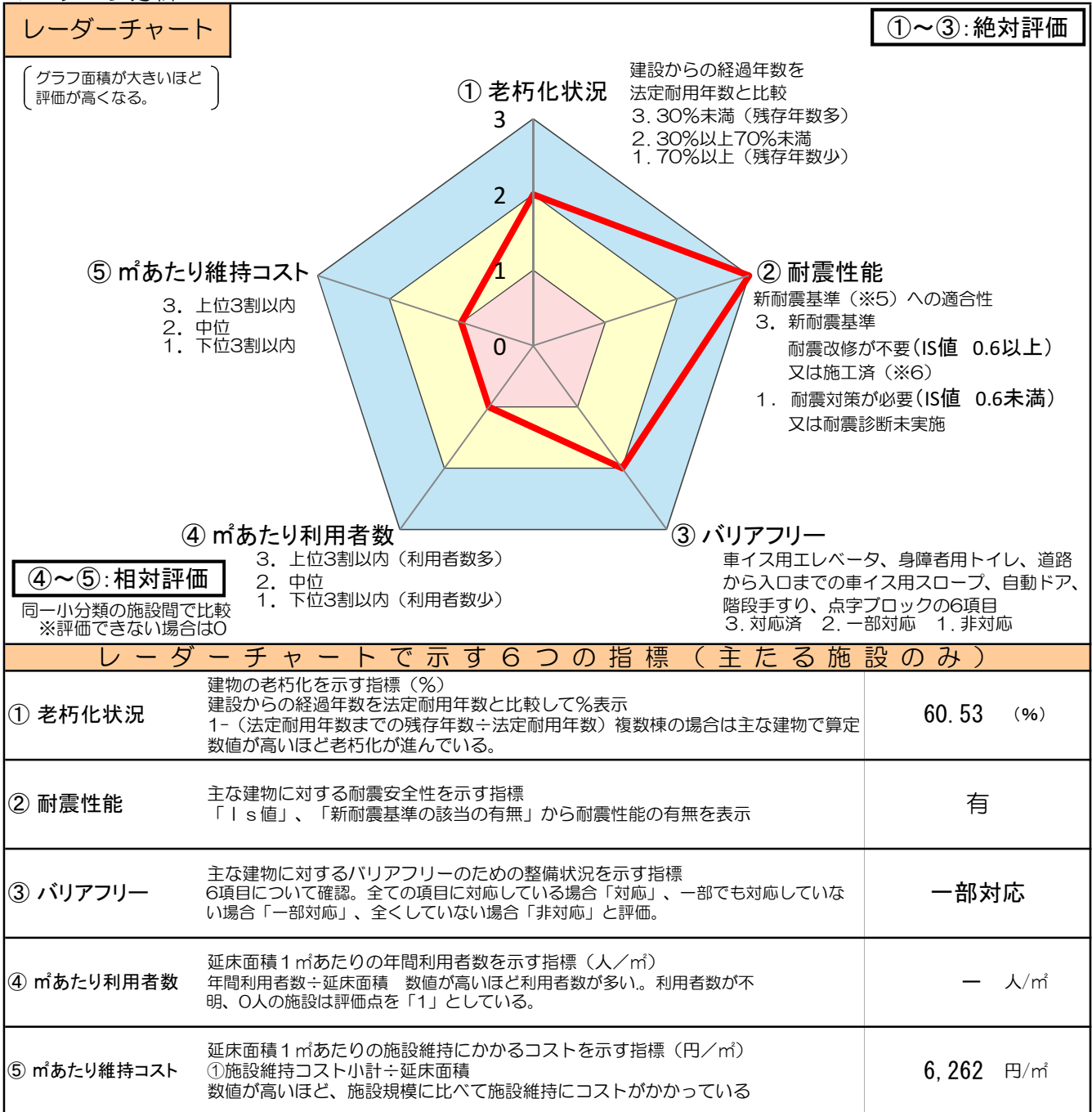
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	不明 人	不明 人	不明 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	359 日	業務委託	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
				修繕料	110,845
		② 施設運営コスト	火災保険料	27,475	
			維持管理委託料	3,971,470	
			敷地借上料	-	
			工事請負費	-	
			その他維持費	13,000	
			小計	4,122,790	
			人件費 (賃金含)	-	
			燃料費	-	
			光熱水費	581,350	
			指定管理料	-	
			その他委託料	1,719,550	
			その他運営費	97,187	
			小計	2,398,087	
			合計 (①+②)	6,520,877	
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	- 円/人	38 円/人	9,904 円/m ²		

7 データ分析



④～⑤:相対評価

同一小分類の施設間で比較 ※評価できない場合は0

レーダーチャートで示す6つの指標 (主たる施設のみ)

※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費 ÷ 利用者数 (H30)
 「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費 ÷ 延床面積
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費 ÷ 人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	6105
調査年度	平成30年度

施設名	佐久島海釣りセンター		
-----	------------	--	--

大分類	商工観光施設	小分類	商工観光施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	--------	-----	--------	------	--------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町佐久島大島地内 (佐久島中学校地区)	敷地面積	521.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	管理事務所、釣り桟橋				
複合・併設施設	-		建築年月	S61.10	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	949.05 m ²	総取得費	165,400 千円
階数	3階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	1時間以内	計算対象層無し	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊	-	-	-	

5 避難所指定

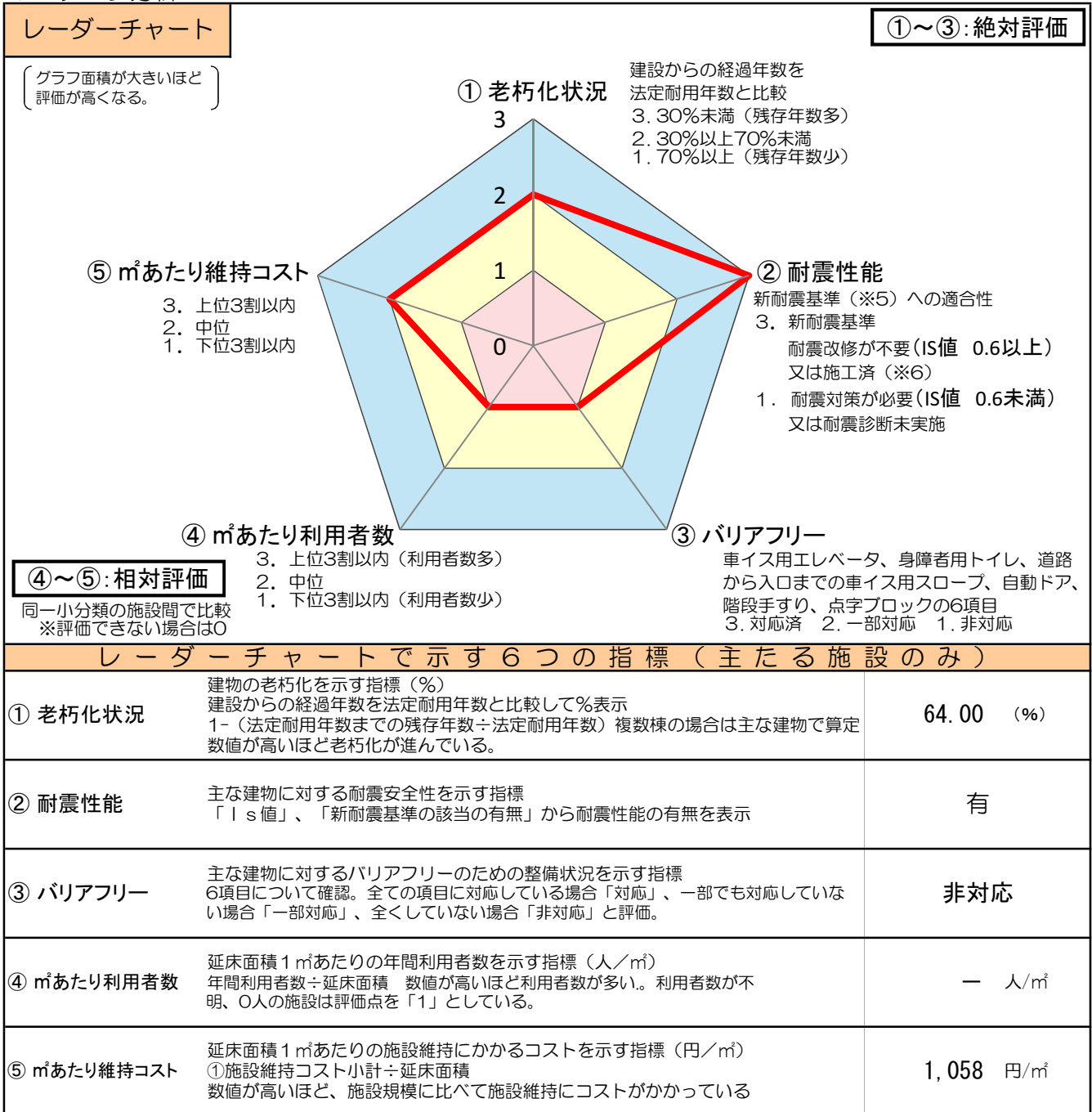
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	不明 人	不明 人	不明 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	359 日	業務委託	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	-
				修繕料	203,256
				火災保険料	1,438
			維持管理委託料	-	
			敷地借上料	-	
			工事請負費	799,200	
			その他維持費	-	
			小計	1,003,894	
			② 施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-
				燃料費	-
				光熱水費	-
				指定管理料	-
				その他委託料	-
				その他運営費	-
				小計	-
			合計 (①+②)		1,003,894
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	- 円/人	6 円/人	1,058 円/m ²		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	6106
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	佐久島ナビステーション		
-----	-------------	--	--

大分類	商工観光施設	小分類	商工観光施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	--------	-----	--------	------	--------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町小藪船江東176番地 (一色中学校地区)	敷地面積	1,215.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	事務所兼展示室				
複合・併設施設	-		建築年月	H5.3	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	436.51 m ²	総取得費	118,244 千円
階数	1階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	1時間以内	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	

5 避難所指定

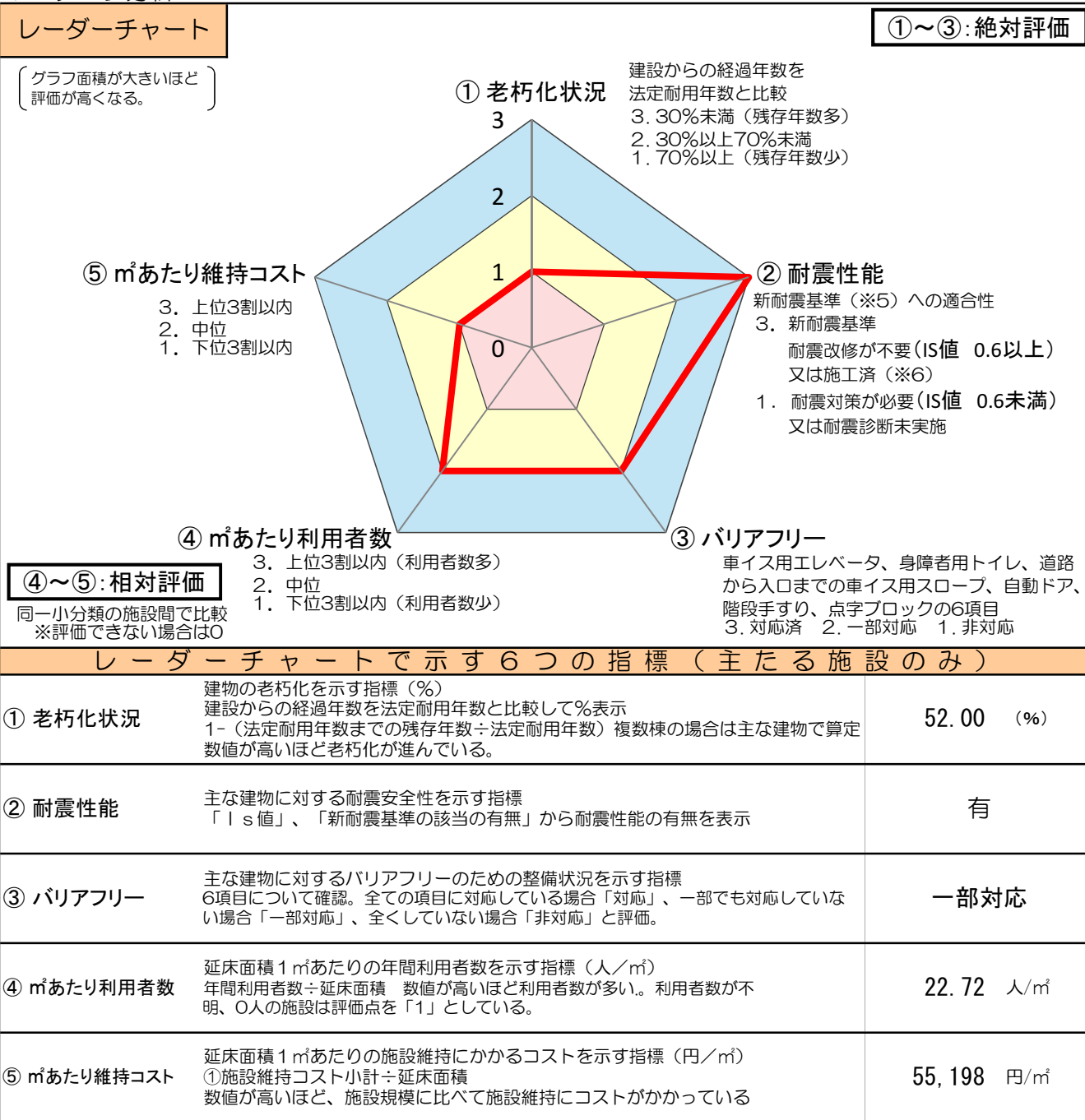
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	100 人	100 人	9,918 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	314 日	直接運営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	19,395,000
				修繕料	192,544
				火災保険料	4,627
			維持管理委託料	2,319,546	
			敷地借上料	-	
			工事請負費	-	
			その他維持費	474,820	
			小計	24,094,452	
			② 施設運営コスト	人件費 (賃金含)	19,395,000
				燃料費	64,042
				光熱水費	730,316
				指定管理料	-
				その他委託料	-
				その他運営費	544,523
				小計	20,733,881
				合計 (①+②)	44,828,333
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	4,520 円/人	260 円/人	102,697 円/m ²		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
 「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。